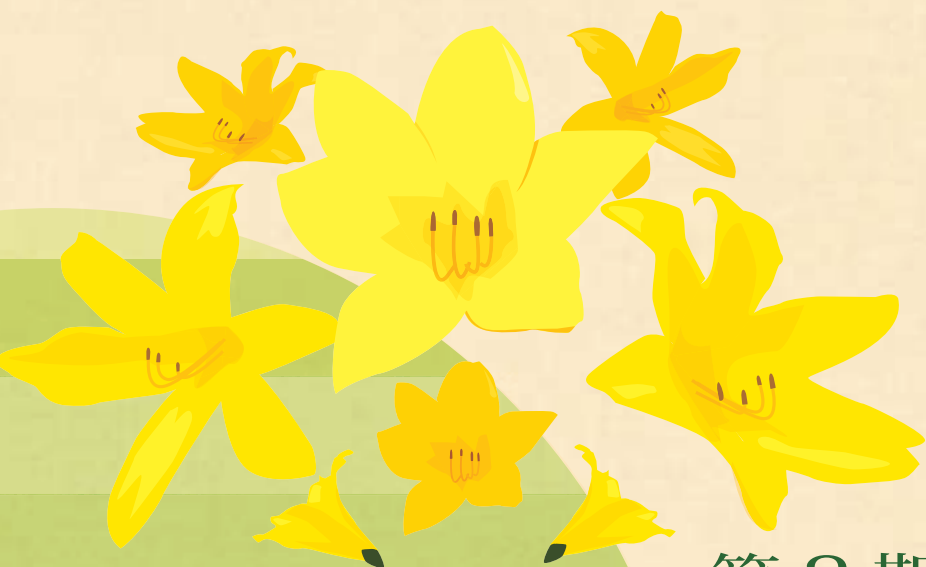
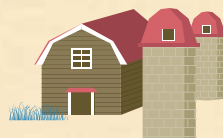




第2期

上サロベツ 自然再生 普及行動計画

平成24年6月 上サロベツ自然再生協議会





目 次

1. はじめに.....	2
2. 経 緯.....	3
3. 自然再生普及行動計画の構成	4
4. 自然再生普及行動計画の基本的考え方	5
(1) 自然再生普及行動計画の位置づけと目的	
(2) 自然再生普及行動計画の役割	
5. 自然再生普及活動の進め方	7
(1) 自然再生普及活動の進め方	
(2) 自然再生普及活動の評価・見直しの仕組み	
6. サロベツ文化づくりのための7つの行動.....	9
●サロベツを見つけよう	●サロベツの話をしよう
●サロベツを楽しもう	●サロベツのことをまとめよう
●サロベツのことを伝えよう	●サロベツをまもろう
●サロベツでつながよう	

① はじめに

豊富町の農業と開拓の歴史は、サロベツ原野の広大な湿原と切っても切れない深い関係にあります。明治36年(1903年)に兜沼地区に岐阜団体が入植してから1世紀以上が過ぎています。

その間には、サロベツ川流域、清明川流域等に入植した先人の方々が目の前に広がる広大な原野の中で、生活や人生を切り開いてきた「開拓への思い」、この地域を日本でも指折りの酪農地域として築き上げてきた方々の「安全・安心で、おいしい牛乳を生産しようとする思い」、サロベツ湿原の広大な景観や、湿原に春から秋にかけて数多く咲く花々、訪れる渡り鳥たちを大切に見守り、慈しんできた方々の「サロベツの自然への思い」があります。

私たちは、この思いを引き継ぎ、伝えていくことが大切な役割だと思います。平成17年(2005年)、「上サロベツ自然再生協議会」が立ち上がり、農業と湿原の共生について地域の多様な主体が参加し活動する場が開かれ、そして平成18年(2006年)に策定された「上サロベツ自然再生全体構想」では、「湿原の自然再生」、「農業の振興」、「地域づくり」の3つの目標が掲げられました。さらに、自然再生の推進に必要なこととして、地域全体での協力した取り組みや環境教育の視点、地域産業の再生・発展のための取り組み、そして、これらの取り組みを持続的なものにしサロベツならではの特徴ある地域づくりを進めることなどが示されました。

自然再生の目標達成に向け、サロベツでの農業と湿原の共生を伝え、多くの方が興味を抱き活動できる機会や交流できる場をつくりながら、一緒に地域活動に取り組むことで、サロベツで育まれた「思い」を引き継ぎ、さらに、私たち自身の「思い」として育んでいくために、自然再生普及行動計画を定めます。

② 経緯

平成17年1月に上サロベツ自然再生協議会が設立されました。協議会に設置された再生普及部会や行動計画策定ワーキンググループでの検討を経て、平成19年5月に「上サロベツ自然再生普及行動計画」が策定されました。

その後、この自然再生普及行動計画に基づいて、普及活動支援ワーキンググループが設置され、上サロベツの自然再生にかかわる活動を「サロベツ・エコモー・プロジェクト」と位置づけ、自然再生普及活動が行われてきました。

そして、この程「上サロベツ自然再生普及行動計画」が策定後5年目を迎えたことから、これまでの自然再生普及活動を振り返り、より効果的な活動を進めるため、平成24年6月に「上サロベツ自然再生普及行動計画」の改訂を行いました。



平成15年1月1日

自然再生推進法施行

平成17年1月19日

上サロベツ自然再生協議会設立、 再生技術部会・再生普及部会の設置

平成18年2月2日

上サロベツ自然再生全体構想の策定

平成19年5月17日

上サロベツ自然再生普及行動計画の策定

平成19年8月～平成24年3月

普及活動支援ワーキンググループの設置・開催

- 平成19年 第1回 ～ 7回 普及活動支援ワーキンググループ、支援活動
- 平成20年 第8回 ～ 18回 普及活動支援ワーキンググループ、支援活動
- 平成21年 第19回～29回 普及活動支援ワーキンググループ、支援活動
- 平成22年 第30回～38回 普及活動支援ワーキンググループ、支援活動
- 平成23年 第39回～45回 普及活動支援ワーキンググループ、支援活動

平成20年4月～平成24年3月（名称は平成20年12月に決定）

サロベツ・エコモー・プロジェクトの実施

- 平成20年 活動の募集、9団体9活動の実施、活動報告会の開催
- 平成21年 活動の募集、11団体19活動の実施、活動報告会の開催、研修会の開催
- 平成22年 活動の募集、18団体15活動の実施、活動報告会の開催、研修会の開催
- 平成23年 活動の募集、20団体22活動の実施、活動報告会の開催、研修会の開催

平成23年12月～平成24年3月

普及行動計画改訂ワーキンググループ設置・開催

- 第1回普及行動計画改訂ワーキンググループ（平成23年12月8日）
- 第2回普及行動計画改訂ワーキンググループ（平成24年1月13日）
- 第3回普及行動計画改訂ワーキンググループ（平成24年1月26日）
- 第4回普及行動計画改訂ワーキンググループ（平成24年2月16日）
- 第5回普及行動計画改訂ワーキンググループ（平成24年3月6日）

平成24年3月14日

再生普及部会

上サロベツ自然再生普及行動計画（改訂案）の検討

平成24年6月21日

自然再生協議会

上サロベツ自然再生普及行動計画の改訂

3

自然再生普及行動計画の構成



自然再生普及行動計画は、
「自然再生普及行動計画の基本的考え方」、
「自然再生普及行動活動の進め方」
そして、
「サロベツ文化づくりのための7つの行動」
で構成されます。

【自然再生普及行動計画の構成】

上サロベツ自然再生普及行動計画

◎自然再生普及行動計画の基本的考え方

自然再生普及行動計画の位置づけと目的

自然再生普及行動計画の役割

上サロベツ自然再生協議会、再生普及部会が自然再生普及活動を推進していくための基本的考え方を示しています。

◎自然再生普及活動の進め方

自然再生普及活動の進め方

自然再生普及活動の評価・見直しの仕組み

上サロベツ自然再生協議会、再生普及部会が推進する自然再生普及活動の進め方を示しています。

◎サロベツ文化づくりのための7つの行動

サロベツにかかわるすべての人が、地域活動を通し、上サロベツの自然再生とのつながりを感じられる手がかりを示しています。



4

自然再生普及行動計画の基本的考え方



(1)

自然再生普及行動計画の位置づけと目的

平成18年2月に策定された「上サロベツ自然再生全体構想」には、「湿原の自然再生」、「農業の振興」、「地域づくり」の3つの目標が掲げられています。また、自然再生の推進に必要なこととして、地域全体での協力した取り組みや環境教育の視点、地域産業の再生・発展のための取り組み、そして、これらの取り組みを持続的なものにし上サロベツならではの特徴ある地域づくりを進めることなどが示されています。

自然再生普及行動計画は、「上サロベツ自然再生全体構想」に基づき、再生普及部会が、これらを推進することを目的としています。

上サロベツ自然再生全体構想(平成18年2月策定)

【目標】

湿原の自然再生

農業の振興

地域づくり

【自然再生の推進に必要なこと】

地域住民等多様な主体の参画による自然再生情報の発信とフィードバック

地域としての取り組み

環境教育の視点

自然環境と調和した地域産業の持続的発展のあり方

地域の視点とグローバルな視点

自然再生への取り組みを持続的なものにする工夫

※自然再生の普及に関する部分を抜粋

推 進

上サロベツ自然再生普及行動計画

- 自然再生を伝える
- 人や団体のつながりをつくる
- 地域への思いを育てる





(2) 自然再生普及行動計画の 役割

上サロベツ自然再生は、地域に暮らす人をはじめ、サロベツにかかわる人の地道な活動によって支えられています。

自然再生普及行動計画は、これらの地道な活動に対して地域全体が協力して支え合い、サロベツならではの特徴ある地域づくりを進めるために、次の3つの役割があります。

自然再生普及行動計画の3つの役割

1 自然再生を伝える

サロベツには次代に伝えていくべき、高層湿原などの貴重な自然があります。また、このサロベツの自然をこれからも大切にするために、湿原の保全など自然再生事業が進められています。それらのすばらしさや大切さを知ってもらうことが、湿原の保全や自然再生につながります。

自然再生普及行動計画は、地域に暮らす人、サロベツを訪れる人、そして活動する人達に、サロベツの自然再生について伝えることが役割です。

2 人や団体のつながりをつくる

地域づくりは、そこに暮らす人、その土地を愛する人によって育まれます。そのような人たちが一人でも多くなり、つながりを持つことで地域づくりがもっと進んでいきます。

3人寄れば文殊の知恵。サロベツにかかわる人たちが「楽しい」を共感し、一緒に語り合い、取り組むためのつながりをつくるのが大切です。

自然再生普及行動計画は、多くの人が活動できる機会や交流できる場をつくりながら、人と人、団体と団体をつなげることが役割です。

3 地域への思いを育てる

サロベツは、湿原と自然の恵みのなかで営まれる農業の共生が期待されている地域です。

自然再生への取り組みを持続的なものにするためには、地域を愛し、地元で根付いた地道な活動が必要です。そのために、自然再生を伝え、また、人や団体のつながりをつくることで、サロベツへの思いの芽を紡ぎ、育てていくことが大切になります。

自然再生普及行動計画は、環境教育や、サロベツをフィールドとした地域活動などを通して、地域への愛着を深め、思いを育てることも役割です。





5

自然再生普及活動の 進め方

(1)

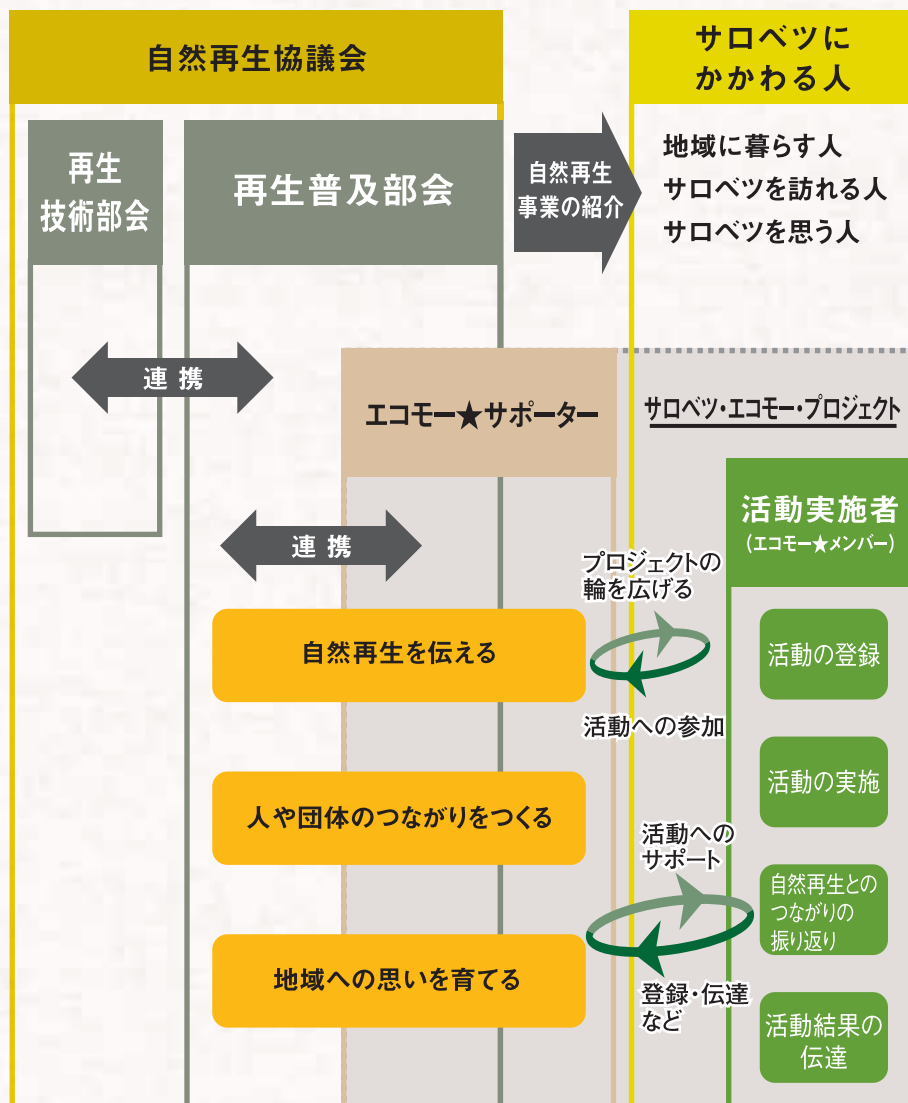
自然再生普及活動の 進め方

1 再生普及部会は、再生技術部会と情報共有や連携を図りながら、自然再生普及行動計画に基づき、地域に暮らす人をはじめサロベツにかかわる人へ自然再生事業の取り組みを伝えます。

2 上サロベツ自然再生と、地域に暮らす人、サロベツを訪れる人、サロベツを思う人などをつなげる地域活動を「サロベツ・エコモー・プロジェクト」と位置づけ、サロベツ・エコモー・プロジェクトを通して「自然再生を伝える」「人や団体のつながりをつくる」「地域への思いを育てる」活動を推進します。

3 サロベツ・エコモー・プロジェクトを推進するため、「エコモー☆サポーター」を設置します（※改訂に伴い、旧普及活動支援ワーキンググループの名称と役割を変更）。「エコモー☆サポーター」は、自然再生普及行動計画の3つの役割をもとに、活動実施者のサポートを行います。また、再生普及部会とも連携し、自然再生事業の取り組みを伝えます。

4 サロベツ・エコモー・プロジェクトでは、サロベツ・エコモー・プロジェクトの活動を行う実施者を「エコモー☆メンバー」と呼び、活動実施者同士が自主的に協力し合える関係づくりを推進します。



●サロベツ・エコモー・プロジェクト:

上サロベツ自然再生と、地域に暮らす人、サロベツを訪れる人、サロベツを思う人などをつなげるプロジェクトです。

●エコモー☆サポーター:

自然再生普及行動計画の3つの役割をもとに、活動実施者のサポートを行います。また、再生普及部会とも連携し、自然再生の取り組みを伝えます。

●エコモー☆メンバー:

サロベツ・エコモー・プロジェクトの活動を行う実施者を「エコモー☆メンバー」と呼びます。



(2) 自然再生普及活動の 評価・見直しの仕組み

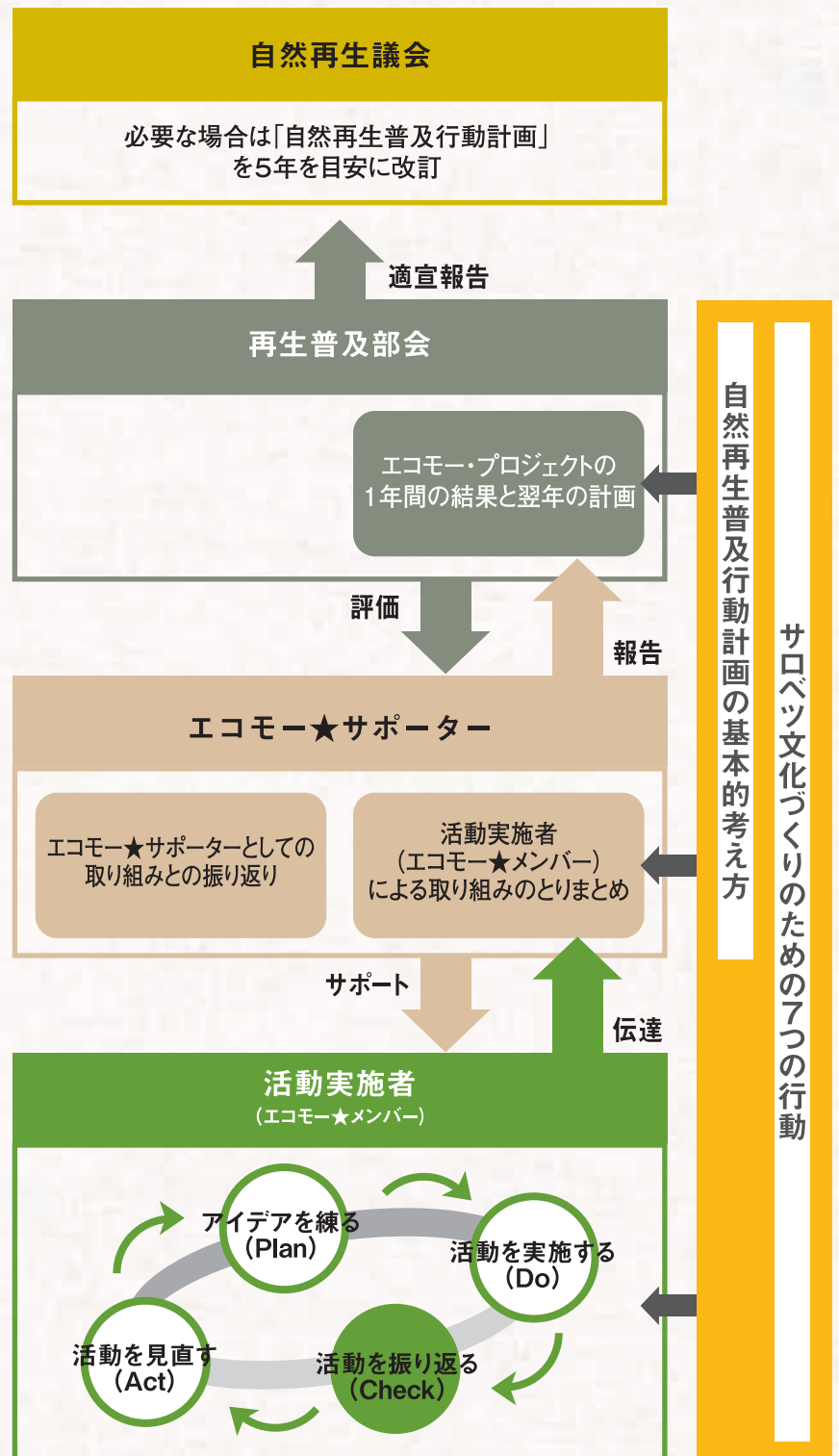
1年間の自然再生普及活動の結果と翌年の計画を次のように評価し、より効果的な活動の推進を図ります。

なお、自然再生普及行動計画は、その内容を柔軟に見直し、必要な場合は5年を目安に改訂を行います。

1 サロベツ・エコモー・プロジェクトでは、活動実施者（エコモー☆メンバー）が自ら楽しみながら活動を企画、実施することを推進します。サロベツ・エコモー・プロジェクトの活動を行う実施者（エコモー☆メンバー）は、「サロベツ文化づくりのための7つの行動」をもとに、実施した活動と自然再生とのつながりを自ら振り返り、その結果をエコモー☆サポーターに伝えます。

2 エコモー☆サポーターは、活動実施者（エコモー☆メンバー）から伝えられた振り返りの結果をとりまとめるとともに、その結果を踏まえ、必要なサポートを行います。また、エコモー☆サポーターとしての取り組みを振り返り、サロベツ・エコモー・プロジェクトの1年間の結果と翌年の計画を、再生普及部に報告します。

3 再生普及部会は、自ら部会の取り組みを振り返るとともに、エコモー☆サポーターからの報告を受け、自然再生普及活動の効果や課題等を検証し、より効果的な活動の推進を図ります。また、自然再生普及行動計画の内容を柔軟に見直します。





サロベツを見つけよう

(1)-1地域の自然について調べよう・見つけよう

- ★サロベツ湿原の仕組みを調べよう
- ★サロベツに流れる川を調べよう
- ★サロベツに息づく生き物を調べよう
- ★サロベツの景色を調べよう
(自然風景、農業風景、陸から、川から、空から)

(1)-2地域の文化・歴史について調べよう

- ★地元の人々の視点でサロベツを見つめよう
- ★外からの視点でサロベツを見つめよう
- ★サロベツの美味しいものを見つめよう
- ★サロベツの癒し・健康効果を見つめよう
- ★歴史を調べよう
- ★古い写真を集めよう



サロベツを楽しもう

- ★自然観察会を開こう
- ★自転車で楽しもう
- ★カヌーで楽しもう
- ★フットパスルートを歩こう
- ★ホーストレッキングを楽しもう
- ★湿原植物を育てよう
- ★湿原植物を食べよう
- ★新しい「サロベツの食」を考えよう
- ★サロベツを楽しむルートで遊ぼう
- ★地場産のソフトクリームを食べよう、牛乳を飲もう
- ★サロベツの四季を楽しもう
- ★サロベツの香りを楽しもう
- ★サロベツの画を描こう



サロベツの話をしよう

- ★町のおじいちゃん、おばあちゃんから昔のことを聞こう(景色や町の移り変わり、気候、洪水、雪のこと、そして食べ物のことなども)
- ★町の子供たちと話そう
- ★サロベツを訪れる旅人と話そう



6

サロベツ文化づくりのための7つの行動

サロベツにかかわるすべての人が、自然再生普及活動を進め、また、活動を振り返る手がかりとして、「サロベツ文化づくりのための7つの行動」を示します。





サロベツのことを まとめよう

- ★サロベツ紹介パンフレットを作ろう
- ★サロベツの教材や副読本をつくろう
- ★サロベツガイド専用マニュアルを作ろう
- ★バスガイドさん用サロベツマニュアルを作ろう
- ★解説板を作ろう
- ★かべ新聞を作ろう
- ★兜沼公園や豊富温泉など近くの楽しいもの、面白いことをまとめよう



サロベツをまもろう

- ★サロベツの自然、湿原をまもろう
- ★利用の条件を考えよう
- ★活用の場の条件を考えよう
- ★サロベツカントリーコードを作ろう
- ★ルールを運用する仕組みを考えよう
- ★サロベツをきれいにしよう



サロベツのことを 伝えよう

- ★湿原、ことに低地での高層湿原の著しい発達を知ってもらおう
- ★ホームページを活用しよう
- ★新聞、ラジオなどメディアを活用しよう
- ★掲示板で発表しよう
- ★サロベツのことを自慢しよう



サロベツで つなげよう

- ★親子で参加しよう
- ★町のおじいちゃん、おばあちゃんと参加しよう
- ★農業青年と活動しよう
- ★町民同士で定期的な話し合いの機会を持とう
- ★サロベツで多くの人と会おう
- ★サロベツガイド(自然、文化、地域、活動)を育成しよう
- ★環境教育指導者を育成しよう
- ★講習会、講演会を開こう





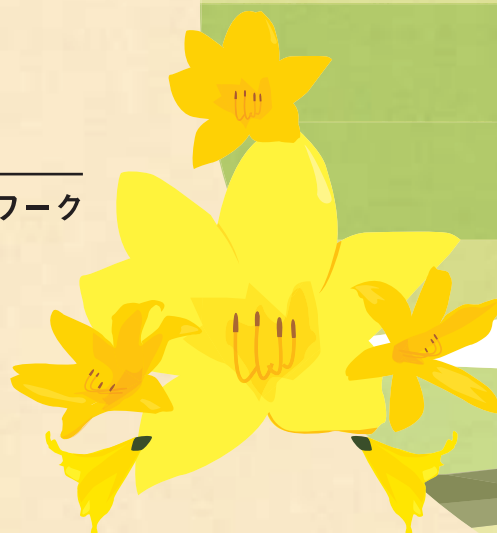
自然再生に関する情報掲載ホームページ

- <http://www.town.toyotomi.hokkaido.jp/>
- <http://sarobetsu-saisei.jp>

お問い合わせ先

上サロベツ自然再生協議会 運営事務局
TEL:0162-82-1001 FAX:0162-82-2806

- 特定非営利活動法人サロベツ・エコ・ネットワーク
- 豊富町
- 環境省北海道地方環境事務所
- 北海道開発局稚内開発建設部
- 北海道宗谷総合振興局
- 林野庁北海道森林管理局



2013年2月印刷
[発行] 環境省北海道地方環境事務所



このパンフレットは古紙配給率100%の再生紙と
地球にやさしい植物性大豆油インキを使用しています。